

32. 血管外科

血管外科部長 松元 崇

2023年の血管外科では、新型コロナウイルスによる大きな診療制限等なく、手術も例年並みの症例数を維持することができました。

末梢動脈疾患においては、包括的下肢慢性虚血や間欠性跛行の患者さんに対する血行再建（バイパス手術・EVT・ハイブリッド治療）を中心に診療を行っております。

下肢静脈瘤については、血管内レーザー焼灼術を中心として治療を行わせて頂いております。従来のような小切開での瘤切除を行わない瘤焼灼術も導入し、抗凝固療法を受けておられる方でも安全に治療可能となっております。

また、腹部大動脈瘤や末梢動脈瘤の患者さんに対しても診療をさせて頂いております。

外来予約などお待たせすることもありご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、今後も一層のご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2023 年診療実績

手術症例数

末梢動脈疾患

バイパス移植術：18、 EVT：14（含むハイブリッド手術3）

動脈血栓内膜摘出術：9、 動脈塞栓除去：7

末梢動脈瘤手術：7、 血管吻合術（ECMO/Impella 抜去含む）：31

静脈疾患

下肢静脈瘤血管内焼灼術：79

腹部大動脈瘤・腸骨動脈瘤（心臓血管外科と重複あり）

人工血管置換：8、 EVAR：54

その他：14

総手術数 241 例